

作成：平成31年4月24日

最終改訂：令和4年3月18日

整理番号 01570

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Soluton Leak Detector

リークディテクター

販売者情報

会社 LECO ジャパン合同会社

住所 〒105-0014

東京都港区芝2丁目13番4号

住友不動産芝ビル4号館

担当 SDS 担当者

電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社 LECO Corporation

住所 3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

区分に該当しない

ラベル表示

絵表示：なし

注意喚起語：なし

危険有害性情報：なし

注意書き：【安全対策】 産業環境に気を配る。

【応急処置】 取り扱い後は手を洗うこと。

【保管】 混触危険物との接触を避ける。

【廃棄】 内容物、容器の廃棄は国、地方自治体、国際規則に従って行う。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物				
化学名	水	イソプロピルアミンアルキルベンゼンスルホン酸塩	ドデシルベンゼンスルホン酸と2プロピルアミンの化合物	ベンゼン(テトラプロペニル)誘導体	イソプロピルアミン
成分及び含有量(wt%)	>99	<0.255	<0.205	<0.015	<0.001
化学式又は構造式	H ₂ O	C ₆ H ₆ O ₃ S ・C ₃ H ₉ N	C ₁₈ H ₃₀ O ₃ S ・C ₃ H ₉ N	C ₁₈ H ₂₂	C ₃ H ₉ N
官報公示整理番号					
化審法	—	—	—	—	2-131
安衛法	非通知対象	非通知対象	非通知対象	非通知対象	45
PRTR法	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外
CAS No.	7732-18-5	68649-00-3	26264-05-1	68512-02-7	75-31-0
国連分類及び国連番号					

4. 応急措置

吸入した場合	通常の場合で用途の範囲内で使用している場合、この物質の吸入による有害性は予測されない。症状が継続する場合は医師の診断を受けること。
皮膚に付いた場合	石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。症状が現れたら医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
医師に対する特別な注意事項	症状にあった治療を施す

5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性	入手不可

消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発に危険性は知られていない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。流出した場合、床や表面が滑りやすいので注意する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。十分な換気を確保する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	リスクを伴わずに可能なら物質の流れを遮断する。バーミキュライト、乾いた砂、土に吸収させる又は布等でふき取る。
環境に対する注意事項	環境への流出を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	十分に換気する。適切な保護衣を着用する。使用後は手を洗う。産業衛生に気を配る
安全な保管条件	製品の入っていた容器のまま密閉し、換気の良い場所に保管する。混触危険物との接触を避ける。(SDS10 項参照)

8.暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

物質	タイプ	値
イソプロピルアミン (CAS 75-31-0)	PEL	12 mg/m ³ 5 ppm

US. ACGIH Threshold Limit Values

物質	タイプ	値
イソプロピルアミン (CAS 75-31-0)	STEL TWA	10 ppm 5 ppm

生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分な換気を行う。
保護具	

眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。

その他	適切な保護衣を着用する。
呼吸器の保護	通常の使用において呼吸器の保護は必要としない。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	取扱後、飲食、喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。作業着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9.物理/化学的性質

物理状態

形状	液体
色	無色
臭い	入手不可
融点・凝固点	入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100 °C
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	6 - 7.5
動粘性率	入手不可
溶解度	入手不可
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	1.00 g/cm ³
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定。
危険有害反応可能性	通常条件下での使用で有害な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物との接触
混触危険物質	強酸化剤、アルカリ金属
有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入 健康有害性は知られていない。

皮膚 健康有害性は知られていない。

眼 眼への直接接触は一時的な刺激を起こすおそれがある。

飲み込んだ場合 健康有害性は知られていない。

物理的、化学的、有害性特性に 入手不可

関連した症状

毒物学的影響

急性毒性 入手不可

成分 種 試験結果

イソプロピルアミン

(CAS 75-31-0)

急性

経皮

LD50

ウサギ

380 mg/kg

吸引

LC50

ラット

40000 mg/l 4h

経口

LD50

モルモット

2700 mg/kg

マウス

2200 mg/kg

ウサギ

3200 mg/kg

ラット

820 mg/kg

皮膚の腐食性/刺激性

長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすおそれがある

重篤な眼の損傷性/眼刺激性

直接目に接触すると一時的に刺激を起こすおそれがある

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性 呼吸器感作性物質ではない。

皮膚感作性 皮膚感作を引き起こすとは思われない。

生殖細胞変異原性

製品中に 0.1%以上含有する成分に変異原性又は遺伝子毒性があることを示すデータはない。

発がん性

IARC Monographs. Overall 分類されていない

Evaluation of Carcinogenicity

OSHA 特定規制物質 記載なし

(29CFR 1910.1001-1050)

生殖毒性

この製品は生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。

特定標的臓器毒性（単回暴露）	入手不可
特定標的臓器毒性（反復暴露）	入手不可
誤えん有害性	入手不可

12.環境影響情報

生態毒性

成分

種

結果

イソプロピルアミン

(CAS 75-31-0)

水生

Crustacea

EC50

Water flea (daphnia magna)

77.1 – 104.2 mg/l, 48 時間

* 製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

残留性/分解性

知られていない。

生体蓄積性

オクタノール/水分配係数 (log Kow)

イソプロピルアミン 0.26

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

入手不可

その他の有害影響

この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13.廃棄上の注意

廃棄手順

内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。

残余廃棄物/未使用製品

N/A

汚染容器

N/A

14.輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15.適用法令

労働安全衛生法：施行令第18条の2別表第9（名称等を表示、又は通知すべき及び有害物）

45 イソプロピルアミン

※ただし裾切り値1%未満の为非該当

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(031815) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成31年4月24日

改訂：令和4年3月18日（法令見直し、2019年版 JIS 対応）

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。